



第91号  
 公益財団法人新潟教育会  
 (新潟教育会館内)  
 代表理事 濱中 力也  
 〒951-8104  
 新潟市中央区西大畑町590番地3  
 TEL兼FAX 025-222-2971  
 URL <http://kyouikukai.jp>  
 E-mail 事務局 [jimu@kyouikukai.jp](mailto:jimu@kyouikukai.jp)  
 研究所 [kenkyujo@kyouikukai.jp](mailto:kenkyujo@kyouikukai.jp)  
 休館日 月曜日



講師プロフィール

- ▼1948年 大阪府出身
- ▼1971年 京都大学卒業後、外務省入省  
入省後は、長く国際機関の要職を歴任
- ▼1988年 GATT (WTOの前身) 事務局
- ▼1993年 世界保健機関 (WHO) 事務局
- ▼2000年 国際連合日本政府代表部大使
- ▼2001年 サン・パウロ日本国総領事館総領事
- ▼2003年 経済協力開発機構 (OECD) 事務局事務次長
- ▼2007年~2012年3月 国連広報担当国連事務次長 (広報局長)として、国連の広報強化に尽力
- ▼2012年8月~ (公財)フォーリン・プレスセンター理事長に就任

「こうすればグローバル人材が育つ」

講師 赤坂清隆様

○開催日 8月4日 (日)

○会場 朱鷺メッセ 国際会議室

チャレンジを認める学校に

阿賀野市立安野小学校

森田 睦子

「グローバルな人材として大事なものは、柔軟性とチャレンジ精神とコミュニケーション能力」というお話を拝聴して、学校現場でその力を育てるためにはどうしたらよいかと考えた。赤坂様は「日本の若者はマイルドヤンキー」強い地元志向・内向的・低い上昇志向」と指摘されたうえで学齢期に「自分の考えをもちなさい、言いなさいの訓練が必要」と教示された。「あっている・正しい」という結果ではなく、「自分で考えた・試行錯誤をした」というチャレンジの過程を認めていくことが大切だと感じた。

自分に自信をもって  
新時代を生き抜くために

加茂市立石川小学校

志田美代子

「自分の考えをはっきり伝える教育を幼児期から」。この言葉が強く心に響いた。

どうすれば、自分に自信をもち、自己主張できる子供を育てられるのか。

まずは大人が、その子の考えを受容的に聴くこと。自分の考えを受け止めてもらった経験を重ねた子供は、意見を外に発信することに自信を持つはずだ。

安心して自分を出せる風土を作る。それが、強い好奇心とチャレンジ精神に溢れた人材を世界へと送り出す第一歩になるのではないか。教職員としても親としても魅力的な学び満載のご講演であった。

本年度の指導者

氏名	所属
生田 雅之	新潟市立女池小学校
村山 敬介	関川村立関川中学校
井筒 正之	新潟市立江南小学校
庄司 宗由	新潟市立坂井東小学校
山田 喜浩	長岡市立大河津小学校
古田島真樹	南魚沼市立おおまき小学校
仙田 満	村上市立西神納小学校
遠藤 美紀	新潟市教育相談センター
佐藤 大介	長岡市教育センター
門野 慎一	新潟市立内野小学校
前山 和彦	田上町立田上小学校
山口真希子	長岡市立宮内小学校
中島 崇	新発田市立東小学校
丸山 由希	長岡市立上川西小学校
塚野 聡仁	新発田市立東小学校
菅 祐毅	村上市立朝日さくら小学校
住吉 泰斉	附属特別支援学校

# 第45回教育相談研修会

令和元年8月6日(火)～8日(木)  
 会場 じよいあす新潟会館  
 参加者 21人

### 1 ねらい

未来に向かって改めて今、人の話を聴くことが大切になってきています。気がかりな子ども、指導に苦慮する子ども、保護者等への教育相談の対応や支援方法。子ども・保護者との信頼関係づくり。ご自身の人間関係力の改善と向上に役立つ心理臨床カウンセリングを実習(体験研修)を通して学びます。

### 2 研修内容

心理臨床カウンセリングの理論と技法を、初級・中級・上級の3コースにわかれ「傾聴訓練」「ロールプレイ」「グループ・エンカウンター」等の実習を通して基本から実践編までを学びます。

### 3 日程の概要

	9:00	9:30	10:00	10:30	10:45	12:00	13:00	17:00	18:00	20:00
6日(火)		受付	開講式	オリエンテーション	着替	グループ実習1	昼食	グループ実習2		夕食懇親会
7日(水)	朝食		グループ実習3			昼食	グループ実習4			夕食情報交換
8日(木)	朝食		グループ実習5		閉講式					
	9:00				11:20		11:50(終了)			

#### 【受講生の声】

▼「自分は、相手のことを理解しているつもりだ。」「人と人とのつながりが大切だ。」と思っていました。しかし、今回の研修を通して相手のことを理解していると勝手に思い込んでいた自分。人と人とのつながりを大切にしていると思いが、相手の気持ちを理解せず、自分の価値観を押し付けている自分がいることに気がきました。

悩みを話すために前日から悩みを見つけていることに悩み、まるで玉ねぎの皮をむいていたら、中身がなかったみたいなの自分もいました。

庄司先生、山田先生が、私たちの困り感をうまく言葉で表現してくださったその力量にも圧倒され、尊敬します。「まずは話を聞く」「うなづく」「傾聴」とても大事なことです。忙しくなると忘れがちですので、気を付けます。仕事というよりは、ふだんの生活の中で、心掛けていき、人として成長したいと思いました。ありがとうございます。

▼今回、初めて参加しました。参加して本当によかったです。この研修会だからこそ、学べたことがいくつもあります。1、第三者の視点から見ることが大事であること

ロールプレイやミニカウンセリングを観察し、シェアリングしたことで、話すこと・聞くことは、生きている」と感じ

ました。グループのメンバーの姿を見ることで、自分の課題に気付くことができました。特に今まで繰り返し、伝え返しをしていなかった自分に気付き、それによって話し手がそれだけ安心して話を続けられるかということが分かりました。2、カウンセリングの答えは全て話し手がもっていること

聞き手の役割は聞くことではなく、話を促すことであると分かりました。それが傾聴なのだと思います。自分を無にして聴くことが難しかったです。

現場に戻ったら、傾聴だけでは不十分な場面が多いと思います。今回学んだ知識を生かしつつ、どうすると聞いてもらえていると感じてもらえるかも考えていきたいと思っています。そして、何より、人間性をみることがいとも思っていた3日間でした。

有意義な時間を過ごすことができました。来年も参加したいです。ありがとうございます。ごさいます。



## 来年度の研修会実施予定

8月6日(木)～7日(金)  
 「じよいあす新潟会館」にて  
 一泊二日の日程

### 第十一回 教師力アップ講座

期 日 令和元年7月28日(日)  
 会 場 新潟教育会館  
 参加者 延べ51人

この講座の特徴は、参加型の研修、受講選択制の研修、すぐに役立つ研修の三つです。本年は、二講座を実施しました。講座内容等の詳細は、新潟教育研究所発行の「所報」をご覧ください。

#### 第一講座

「小学校外国語科の授業づくり」  
 ～外国語科の授業で

大切にすること～

講師 村上 大樹 様  
 新潟市小学校英語教育  
 推進リーダー

新潟市立味方小学校 教頭

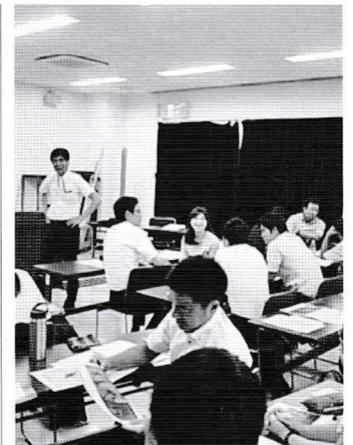
#### 第二講座

「道徳科の授業に求められること」  
 ～模擬授業を通して道徳科の

授業づくりを考える～

講師 吉原 修英 様  
 新潟市教育委員会

新潟市教育委員会  
 学校支援課嘱託指導主事



### 来年度の講座実施予定



7月26日(日)  
 新潟教育会館にて

### 保護者の子育て講座

～カウンセリングを通して～

令和元年8月29日(木)

会 場 新潟教育会館

参加者 3人

講師 佐藤 隆夫 様  
 教育委員会嘱託指導主事

新潟市教育委員会  
 学校力カウンセラー

#### 【講義内容】

子どもたちは、自分の気持ちを聴いてほしいと思っていますが、大人の方はついつい、説教調になってしまいます。子どもの話を聴くことの大切さは分かっているものの、いざ聴こうとなると、うまくかわりができない等の話をよく聞きます。

これらの現状をふまえ、子どもの気持ち

ちを受けとめる効果的な話の聴き方について、ロールプレイを通して研修しました。ロールプレイでは、実際に話を聴く練習をしました。

### 特別支援教育

#### 助成金授与式

期 日 令和元年11月22日(金)  
 会 場 新潟教育会館

本年度の特別支援教育助成校六校に対する助成金授与式が開催されました。

該当六校は、各地区の特別支援教育担当指導主事から推薦されてきた学校の中から、選考委員会(10月)で審査され、理事会を経て決定されました。この事業は、昭和47年以来続いている

#### 令和元年度 特別支援教育助成校

##### 小学校(4校)

	学 校 名
1	糸魚川市立糸魚川小学校
2	十日町市立十日町小学校
3	阿賀野市立水原小学校
4	新潟市立大鷲小学校

##### 中学校(2校)

	学 校 名
1	小千谷市立小千谷中学校
2	新潟市立木戸中学校

もので、助成した学校は、369校にのほつっています。当会では、これからも県内の特別支援教育に努力されている学校に対する助成を継続したいと考えています。なお、助成された学校の取り組みについては、当会発行の「新潟教育会報」第93号(令和2年6月発行予定)に掲載いたします。



